



九州支社

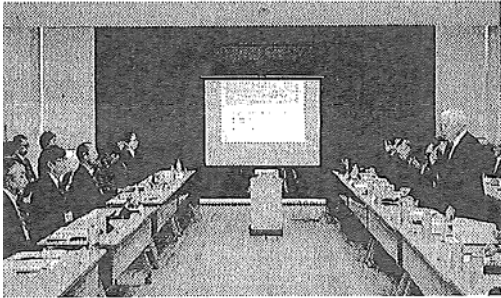
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前
3-9-1 大賀博多駅前ビル
電話 092-471-6118
FAX 092-471-6119

kyushu
@kensetsunews.com

と協同
交換意見
熊本建設

業務成績評価を本格導入 早期発注で納期平準化

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は7日、熊本市との意見交換会を開いた。写真。年度末納期の改善と専門技術力重視の発注方式、表彰制度の導入などを討議し、業務成績評価制度を2024年度から本格導入するなど前向きな回答を市から得られた。



意見交換には、協会から田中支部長や尾長谷孝之副支部長ら幹部、市から総務局長の栗原誠契約監理部長、都市建設局の高永恭男土木部長らが出席した。

冒頭あいさつに立った田中支部長は、DX（デジタルトランスフォーメーション）などにより「仕事のやり方が劇的に変わる」とする中で、受発注者ともに働きがいのある職場にしたい」と語った。栗原部長は「将来の建設業を文

える若者が希望を持てるように課題を共有し、互いに知恵を出し合って解決したい」と応じた。

市への個別提案で適正な工期の設定と納期の平準化を討議した。市の22年度発注の第4四半期に占める納期の割合は55%で、九州の県政令市の中で最も遅れている。協会は、発注業務206件のうち、73件の納期が3月に集中し、繰り越しも25件と少ないことから、目標とする40%となるように早期発注や繰り越しの活用による改善を求めた。市は、22年度の実績を受けて「納期を平準化することを求める全庁的な通知を9月に出した」と説明し、「24年度には目標に近づけるようにしたい」と

回答した。

入札参加資格要件については、県内の建設コンサルタン登録企業と有資格者数が増えている一方で、技術要件設定型の一般競争入札であっても「建設コンサルタンの登録部門を問わない業務案件がある」と指摘した。協会が実施したアンケートでは、上下水道や道路などは全て部門指定があるものの、「鋼構造及びコンクリート」は対象業務32件中の指定が6件だったと

ことが難しいのであれば、道路や河川など関連する複数の部門の指定を検討してはどうか」と提案した。市が20年4月から試行している業務成績評定制は「評価のばらつきが少なくなっている」ことから24年度の本格導入を決めた。表彰制度は業務成績評定制の導入後に検討する。電子契約は「受発注者ともに有効性を確認した」として導入に向けた準備を進めている。

した。橋梁の調査・点検業務を一例に挙げ「鋼構造及びコンクリート部門を指定してほしい」と要望した。

市は「規模が小さい業務は部門を狭めると応募業者が少なくなり、競争性が担保されにくい」と回答。これに対して協会は「部門を一つに絞る

設計条件明示チェックシート
の活用についても議論が及び、予備設計は国のフォーマットを使ってすでに活用を始めたことを報告した。これを受けて協会は「活用の結果をモニタリングし、フィードバックしてほしい」と要望した。